

令和 6 年 第 3 回 定 例 会  
陳 情 文 書 表

自 陳情第 3 号  
至 陳情第 4 号

陳情 番号	件 名	付 託 委員会	審 査 結 果				頁
			日	委員会	日	本会議	
3	「マイナンバー保険証と 現行の健康保険証の両立 を求める意見書」の採択 を求める陳情						3
4	栄町広場でペットボトル の不法投棄をやめさせる ことを求める陳情						5

陳 情 番 号	3	受理年月日	令和6年8月20日
陳情人住所氏名	府中市晴見町2-15-5 東京土建一般労働組合府中国立支部 社会保障対策部長 松澤正雄 外1人		
件 名	「マイナンバー保険証と現行の健康保険証の両立を求める意見書」の採択を求める陳情		
〔陳情趣旨及び理由〕			
<p>2023年6月2日に改正マイナンバー法を可決・成立し、マイナンバーカードに保険証機能（以下「マイナ保険証」）を持たせ、従来の保険証は2024年12月2日に廃止し、マイナンバーカードを作成しない、あるいは発行できない国民には資格確認書を発行する方針が出されました。</p> <p>現時点でマイナンバーカードの発行枚数は日本国民の約80%以上ということが発表されていますが、その一方で、マイナ保険証をめぐるトラブルは連続的に発生しています。</p> <p>厚生労働省の調査では2023年12月にマイナンバーカードを保険証として使用しているのはわずか4.29%にとどまっており、使用率は今もなお減少し続けています。マイナ保険証の使用に関して国民が一定の不安を抱えており、信頼性がなくなりつつあることは使用率の減少からも十分に推察できます。</p> <p>また国の推進により、マイナ保険証を使用できる医療機関は全国で約91%と大幅に増加した一方で地域の医療を支える小規模病院や診療所の中には、人員確保やオンライン回線の開通をはじめとした施設整備などに対応しきれない医療機関が生まれました。突然の義務化と情報漏えい、セキュリティ対策の不安により、地域住民の健康を支える、いわゆる「かかりつけ医」となる町の医療機関が閉院を決定したという声も一定数あります。</p> <p>多額の予算をかけて推進したマイナ保険証制度は、カード自体の普及率は上昇しても、相次ぐトラブルによって、地域医療の質と量を下げることがあり市民生活に大きな影響を及ぼしかねません。</p> <p>マイナ保険証を作ることのできない人には紙の資格確認書で対応、そして使用時にエラーが出た際には結局、現行の健康保険証に頼らざるを得ない現状において、健康保険証の廃止とマイナ保険証の一律使用を2024年度内に完全実施とすることにはいささかの強引さを感じられます。このまま進めば国民及び市民の生活と命と健康に及ぼす影響が大きく、医療機関窓口での混乱を来すことも必至です。</p> <p>以上の理由をもって、国に対して当面の間マイナ保険証と現行の健康保</p>			

険証を両立するよう、府中市議会として意見書を提出していただくよう要望します。

〔陳情事項〕

2024年12月から始まる健康保険証の廃止を中止し、当面の間、現行の健康保険証とマイナンバー保険証を両立するよう、国に意見書を提出してください。

付託する委員会	
---------	--

陳 情 番 号	4	受理年月日	令和6年8月23日
陳情人住所氏名	府中市新町1-22-12 小岩井 雅 人		
件 名	栄町広場でペットボトルの不法投棄をやめさせることを求める陳情		
<p>1 府中市の公園「栄町広場」で昨年から悪化しているペットボトルの不法投棄をやめさせるよう府中市が主体となって積極的に解決させてほしい。</p> <p>2 栄町広場は住宅街の中にある公園だが一度に2本から20本以上のペットボトルの投棄が繰り返され昨年より延べ200本以上回収している。 ペットボトルは全て中身が洗われパッケージも剥がされており資源ごみとして捨てることができるペットボトルをなぜこの公園に捨てるのか分からない。人目を忍んでの投棄であり恐らく夜間から早朝にかけて行われていると思われる。公園緑地課による警告看板の設置、府中警察署での巡回作業も行われているが全く改善されない。私は「まちなかきらら」で公園緑地課登録のボランティアであるが毎回落ちていたペットボトルを回収する手間暇には大変苦勞している。地域の防犯の悪化、環境の悪化につながる不法投棄を府中市が主体となって解決に努めてもらいたい。</p>			
付託する委員会			